

『富嶽百景』

- 主人公の心情と成長
  - 
    主人公「私」
    - 太宰治がモデル
    - 心情変化と内面の成長を描く
    - 富士山への違和感や反発心
  - 心情の変化
    - 茶店の老婆との触れ合い
    - 道端の月見草との出会い
    - ⇒ 自分の小ささを自覚する
- 様々な富士山の描写
  - 
    富士山
    - 単なる背景ではない
    - 心情や話の展開と結びつく
  - 当初の批判的な見方 — 次第に心が揺れ動く
  - 親しみと感謝 — 「富士山」と呼ぶように
- 日常の美と文学
  - 「私」
    - 作家として山梨県に滞在
    - 日々の生活の中で様々な発見
    - 
      （例）結婚相手の母親の言葉
  - 日常の美と文学の関係性の描写